

地域の文化に触れました 糸とり(操糸)を体験



11月7日、蚕桑小学校の3年生が「操糸」といわれる、蚕の繭から糸をとる作業を行いました。繭をお湯で煮て、糸の先を探しだし、操糸器という機械を手で回し、糸にする一連の作業を教わりました。15個の繭からの細い糸を1本にし、操糸器で巻き取られた光沢がある生糸を見た児童からは、「きれい、切れない」、「他の学校ではできないことが体験できてよかったです」という感想が聞かれました。

サッカーって楽しいね モンテディオ山形ふれあいフィールド



11月20日、山峡体育館で、あらと保育園、よつば保育園の年長児がモンテディオ山形の3人のコーチとサッカーを体験しました。あちこちに転がるボールを全力で追いかける園児たちはみんなニコニコで、ゴールをきめてハイタッチをするなど、サッカーを楽しみました。マスコットキャラクターの「ディーオ君」が現れると大喜びで、みんなで、記念撮影を行いました。

真っ赤になっておいしそう りんごの収穫を体験



11月19日、鮎貝小学校3年生の児童がりんごの収穫作業を行いました。りんごの先生(加藤嘉郎さん、熊坂嘉代司さん)から収穫の方法を教えてもらい作業に取り掛かりました。脚立を使い、高い所のりんごも収穫し、一本の木から17ケースも採れました。自分たちで収穫したりんごの試食すると「蜜がいっぱい」「あまーい」と口一杯にほおぼりながら、歓声があがりました。

白鷹学講座 竹下和男講演会 弁当づくりから進める男女共同参画



11月19日、白鷹学講座 竹下和男講演会「弁当づくりから進める男女共同参画」が行われました。竹下先生は、子どもたちが自分で弁当を作る「弁当の日」の提唱者で、現在では1,000校を超える学校で行われています。先生は、「人は、人に喜んでもらう事をする事で、脳が発達し、人になることができる」と、取り組みの重要性を話されました。

海老名和好さん(滝野)が 全国スポーツ推進委員連合 功労者表彰受賞

海老名さんは、平成2年4月1日、白鷹町スポーツ推進委員就任以来、22年にわたり委員を務められ、町のスポーツ振興の一翼を担う活躍をされています。

その功績により、11月29日、長崎県で開催された第53回全国スポーツ推進委員研究協議会において、全国スポーツ推進委員連合功労者表彰を受賞されました。

